

# 2022～2023年度 活動報告書・決算書

## 過去の教育活動実績

### 現在のコミュニティ参加状況

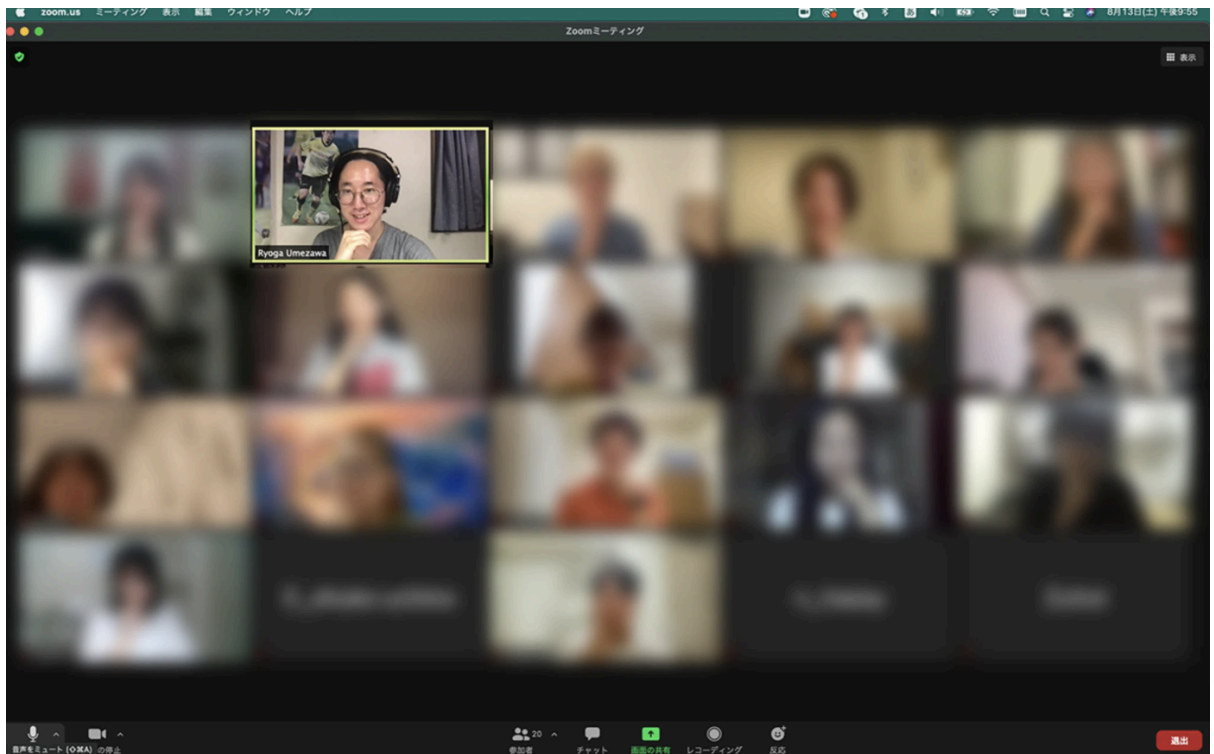
43都道府県から約300名中高生 10カ国以上の大学に進学した約50名の海外大生  
(※応募フォームからのデータ抽出)

海外大学生の在籍校例:

ミネルバ大学(米国)、ケンブリッジ大学(英国)、カリフォルニア大学バークレー校(米国)、メルボルン大学(オーストラリア)、マサリク大学(チェコ)、IE大学(スペイン)、国立台湾大学(台湾)、浙江大学(中国)、西江大学(韓国)、モナシュ大学(マレーシア)、アトランティック工科大学(アイルランド)等

### 教育活動実績

1. グローバルな進路選択に挑戦する中高生のコミュニティの共創PBL  
(2022年6月～現在)



デザイン思考のCo-creationをベースに、グローバルな進路選択の当事者である中高生自らが、自身の欲する機会、環境、学びについて考え、同世代とのコミュニティ構築に挑戦する。

2022年度は50名の中高生が、海外大生のサポートの下、0からオンラインコミュニティ創りに挑戦。

2023年度にプロジェクトを一般公開してからは新規メンバーも加入し、SNS運営や新規イベント企画、部活動立ち上げなどにチャレンジできる仕組みを更に拡大し続けている。

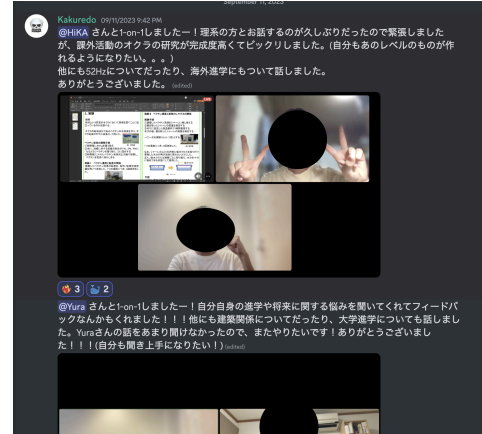
運営に関する探究活動例 (2023年度):

- 中高生コミュニティマネージャー
- クラウドファンディング企画・実行チーム
- 52Hz SNSチーム
- クジラ漂流記構想 (52Hzメンバーのグローバルな進路選択への挑戦をまとめた体験記)
- 52Hz公式WEBサイト制作

## 2. 先輩、同世代との交流からグローバルな進路選択について考える機会の提供

(2022年6月~現在)

定期交流会、1-on-1奨励、毎週開催の海外大学生Office Hour (海外大学生と何でも雑談・相談できる1時間)を通して、地元では出会えないグローバルな進路選択に挑戦する同世代の中高生、海外大学生と越境した学び合いの機会を提供。



## 3. 学校の枠を超えたボーダレスな探究活動支援

地元では学校の制約や仲間不足で実現が難しい探究活動の実現を支援。

実施例:

- (中高生発案) 哲学的対話と一緒にチャレンジする会 (2022年6月~現在)
- ソーシャルビジネスを考えてみよう。公益社団法人ジュニアアチーブメント日本が開催するソーシャルビジネスコンテスト、Social Innovation Relayに10名3チームが挑戦し、全チームが二次予選進出。2チームが全国大会へ出場し、1チームが準優勝。(2023年秋~2024年春)
- 株式会社リクルートと北海道東川町が共同で実施した学びの祭典、LIP FESに、52Hzの高校生3名を無料招待。LIP FESの登壇者として東川町を訪問。(2023年夏)
- NHKの教育番組「ニュー試」に52Hzの中高生4名を特別招待。2024年4/6放映回の収録にチャレンジ。(2024年春)
- 香川県さぬき市の地方創生に挑戦するさぬきピアラーニングハブと、新規地方創生プロジェクトを壁打ちしてみよう。(2023年夏~2024年春)
- (中高生発案) 模擬国連部をつくろう

## グローバルな進路選択について考える講演・ワークショップ

- 世界各国の日本人海外大学生との不定期交流会(2022年6月から過去数回開催)
- (中高生発案) 海外大学生による、実際の授業を体験できる学問講座 (2024年春~)
- 現役日本人Googleエンジニアと考える夢の叶え方 (2024年2月)
- ELSA JAPANコラボワークショップ、英語インフルエンサーDAISUKE氏による留学希望者向けELSA SPEAK活用ワークショップ(2023年秋)
- (中高生発案) グローバル進路選択専門家、白川寧々氏との座談会(2024年初旬)

## 参加者の声(一部抜粋)

・学校では出会わない大学生や同じような目標を持った中高生に出会えたこと。年がそんなに変わらないのに色々な分野で様々な活動をしている人がいて刺激をもらえる。コミュニティ内でも色々な挑戦ができて楽しい。

・高校には海外大志望の人がいないので、52Hzに来ることで、同じ志を持つ仲間たちと自信を持って行動できること。

・出会った素晴らしい仲間とコンテストに出たら、全国大会に進む事になった。

・海外大進学が遠い夢ではなく、現実的な選択肢で、可能性は0じゃないと知れた

・マイナーな選択肢を志す身として、苦しいのは自分だけじゃないと知れ、沢山の先輩から話を聞ける事でモチベの源ができた

・困ったとき(出願直前のCommon Appに関する質問など)すぐにコメントをもらえて本当に助かりました！

・ここに参加することで課外活動や、IB生のチャンネル、奨学金のチャンネルなど多くの情報を一度に確認することができるので、進路へのスゴい絶大な力になっています！

・多くのビジネスコンテストは1人では出場できず、学校では仲間が集まらなかったもので、52Hzが無ければ一生参加できませんでした。初めての参加でリーダーとして上手い出来ないことも多くありました。ですが、そのたびに向上心を持つ素晴らしい仲間を支えられ、ファイナリストに残ることが出来ました。社会問題の深刻さ、「やりたい」と「実現」の間に大きな溝を実感しましたが、社会性が身につく、夢に一步近づいた最高の経験でした。(52Hzの仲間とビジネスコンテストに参加したメンバーからの感想)

## 参考資料URL

52Hz概要

[https://camp-fire.jp/projects/view/722073?list=watched\\_projects](https://camp-fire.jp/projects/view/722073?list=watched_projects)

52Hz活動報告+広報

[https://www.instagram.com/52hz\\_worldwide/](https://www.instagram.com/52hz_worldwide/)

52Hz初期コンセプト

<https://x.com/ryogabroad/status/1685243935030214656?s=20>

52Hz創設者インタビュー

<https://www.hotosena.com/article/15012896>

[https://www.youtube.com/watch?v=lnxK\\_Ehu7pY](https://www.youtube.com/watch?v=lnxK_Ehu7pY)

52Hz参加海外大学生による解説

<https://ray-globallife.com/52hz-introduction/>



ミネルバ大学  
Director of Partnerships  
坂江裕美 様

52Hzは、特別な才能と個性を持ちながらも、同級生の中でも圧倒的マイノリティかつ周囲の大人からも理解をもらえない環境にいる高校生たちが、世界へと羽ばたき、学び、好奇心を広げ、未来を描くための一歩を踏み出すことをサポートするプロジェクトです。彼らが自分の可能性を最大限に発揮し、国際的な舞台上で活躍できるよう伴走することが、この活動の核心をなしています。

「誰もが自分の情熱に従い、新たな冒険に挑める社会」の実現を目指し、日本の未来を明るく照らす光となると私は確信します。

皆様のご支援により、彼らの挑戦が実現し、教育の新たな地平が開かれます。

52Hzへのご支援を、心からお願い申し上げます。

## プロジェクトサポーター

自ら希望する道路を選ぶことは、若者の権利です。

社会的背景、経済力、住む場所など、若者自身のコントロール外にあるところで、道路を断念してしまうことは大きな損失となります。その中でも海外大学に進学することは、自身の成長機会として素晴らしい選択である一方、金銭や情報などのハードルが厳然として存在します。身近なロールモデルである実際に進学した先輩たちからサポートが受けられる環境は特にオンラインでは重要です。

今回の取組みはそれらのハードルを超え、未来の担い手である中学生がチャンスをつかめる場だと信じています。



HLAB共同創設者・COO  
高田 修太 様

私は海外進学を当たり前の選択肢にしていくことを後押しする本プロジェクトを応援しています。

私が日本の代表を務める海外進学塾のCrimson Educationでは年間2000件を超える相談を受けますが、費用感などが理由で海外進学を断念しなければいけない受験生がたくさんいます。さらに情報格差も深刻な問題です。コミュニティの不在も深刻課題です。特に地方から挑戦したい高校生は学校のサポートもなく、時には海外進学を根拠から否定する先生とも向き合わなければならないのです。孤立しながら海外大学の受験に挑戦するのはあまりにも高です。

私は本プロジェクトを通して、良質な情報へのアクセスのみならず、海外進学のコミュニティが形成されることを期待しています。もちろん、「海外大学進学の実現」を一緒に実現すべく、協力していきたいと思っています。

日本は人口比率で考えると、海外大学進学者は韓国国籍の1/6です。米国大学の入学審査官と話をしても「日本からもっと受験生が増えてほしい」といつも話をもらっています。つまり、日本はポテンシャルがあるのです。そのポテンシャルを形にすべく、ご協力を宜しくお願い致します！！



Crimson Education Japan 代表  
松田 悠介 様



「米国トップ大学受験バイブル」著者  
海外トップ進学塾RouteH 元塾長  
尾澤 章浩 様

「海外進学が当たり前の選択肢になるように」

海外大学進学塾に15年開き、200人以上の高校生を海外大に送り出してきたのですが、全国的にみればまだまだです。学費の問題に加え、誤解や情報不足もある一方で、海外で学ぶ利点も十分に伝わっていない部分もあります。そのため2022年に「米国トップ大学受験バイブル」を発行し、海外受験や大学の情報を惜しみなく出したつもりですが、さらに52Hzさんが、その活動を通して、海外進学が当たり前の選択肢になるように頑張ってください！私も応援します！



Agos Japan 留学カウンセラー  
松永 みどり 様

日本の中高生にとって、海外大学進学は「先輩に留学した人がいない」「高額な費用が払えない」

「何から調べればいいのか分からない」など多くのハードルがあります。特に首都圏の方にはその壁ももっと高く感じるかもしれません。今は大学留学を目指す方向けの奨学金も充実してきていますし大学からの奨学金などもあります。「わからないから諦める」→「ちゃんと知って目指す」へ変えてほしいです。

若い時の海外大学での経験は語学力だけでなく、多くの価値観の共有や経験をもたらし、びっくりするほど成長します。グローバル化が進む社会で、どこにいても誰とでも自分の力を発揮できる自分になってください！

先輩者になるということは、新しい壁や挑戦の存在を認識し向き合い、超える方法を模索し続けなければなりません。どんな壁があるか事前に教えてもらうことも無く、突き進むことは時に難しいでしょう。私自身も地方公立高校から海外大学へ進学し、在学中は留学フェロシップ等で、そのような境遇でも、海外大へ進学したい高校生をサポートしてきました。

「新しい挑戦を踏み出そう」と決意した志の1歩目をサポートする。そんな機会やサポートが、日本中へ提供される。新たな選択肢を当たり前にする、そんな52Hzの活動を応援します。



NPO法人留学フェロシップ  
広報局最高責任者  
米国Pomona大学2023年度卒業  
矢野 勇磨 様



当団体が注力する四国地方も、海外進学に対して、「金持ちの秀才だけの選択肢」という偏見が根深く、52Hzがターゲットとするちょっと興味を持った層から海外進学に向かって自走できるようになるまでのサポートの重要性を痛感する日々です。

中高生自身が主体的に取り組む素晴らしい活動をぜひ多くの皆さんに応援いただきたいと思ひます。



NPO法人みんなの進路委員会 理事長  
谷村 一成 様

グローバルビジネスで働く中、私は日本人は世界で十分活躍できると信じています。しかし世界人材ランキング、日本は過去最悪43位。「管理職の国際経験」は64カ国で最下位。

日本から一歩外にでると圧倒的な多様性・学びがあります。一人でも多くの外国人の友を見つけ、アカデミック・ストリートで学んで、世界をより良くする日本人グローバルリーダーとして活躍してほしいと願っています。

海外に憧れる無限の可能性を持つ学生の夢をサポートする「52Hz」、応援します！

夢大きく志高く！

STAY GOLD！



Microsoft シンガポール アジア太平洋地区  
ライセンスコントラクトコンプライアンス 本部長  
グローバルリーダーシップメンバー  
岡田 兵吾 様

52Hzの皆さんには中高生向けのイベントに登壇していただきましたが、主体的な活動や将来への展望のお話が同年代だけでなく大人も感化していることが印象的でした。

そんな皆さんがお互いに共鳴し合いながら、それぞれに面白い人生を切り拓いていかれることを楽しみにしています。



LIPフェス企画担当  
中村 駿介 様

私自身、海外留学で人生が変わった人間の一人です。叶えたい未来、抱きたい夢がある中高生の方々が、志を共にする仲間と繋がり、さらには、より良い未来の担い手を応援したい大人たちとも繋がって、想いを実現できるコミュニティができることにワクワクしています。私も学校設立にあたり多くの方が応援してくださったことがどれほど力になったことか。

皆さんの挑戦を心から応援しています！



白馬インターナショナルスクール代表  
草本 朋子 様

私は、日本の大学教育をもっとよくするための研究をしています。なので、日本の大学に見切りをつけて海外大学への進学を目指す中高生を応援するのは、正直ちょっと複雑な気持ちです。

でも、研究の一環でミネルバ大学(米国)に進学した日本人学生の成長ぶりをこの4年間見ていたら、そんなちっぽけな考えを捨てて、日本の大学とか海外の大学とか関係なく、世界のために活躍する若者が増えてほしいと思うようになりました。

というわけで、がんばれ52Hz！



京都大学大学院教育学研究科・教授  
松下 佳代 様



カンボジア キリロム工科大学創設者  
ピアラーニングハブ 代表  
猪塚 武 様

52Hzプロジェクトを応援します！

日本の失われた30年の原因は1つは教育です。日本の教育システムは日本の政治システムと同様にみんなが変えたいと思っているのに誰も変えられない構造になっています。しかし政治とは違い、教育に関しては海外大学への進学の普及によって適切な競争を起こして、日本の教育システムを直すことができると思ひます。

52Hzプロジェクトを皆さんで応援して欲しいです。

# 直近決算の決算資料

## 概要

2022年6月の発足から2024年3月まで任意団体としての運営につき、支出収入共に雑費を除きなし。該当期間は有志学生の無給ボランティアにて運営。

2024年3月31日、クラウドファンディングにて運営資金218万円を調達。

[https://camp-fire.jp/projects/view/722073?list=watched\\_projects](https://camp-fire.jp/projects/view/722073?list=watched_projects)

同年3月19日 一般社団法人化。現在、資金増強のため留学支援事業者などとの大型スポンサー契約(400~500万円程度)の締結に向けて交渉中(下記予算は応募時点で確保している自己資金をもとに策定したもの)。

## 2024年度予算案

組織の主要な運営に関わる人件費(理事報酬等): 55万円

通信費 (サーバー代、クリエイティブ系サブスク費用等): 10万円

その他人件費(海外大学生Office Hour・中高生運営メンバーへの謝礼等): 10万円

伴走プログラム関連費: 130万円 + 三菱みらい育成財団助成

オフライン交流促進費 (オフライン交流会開催に関わる費用): 10万円

探究学習・課外活動・プロジェクト支援金: 5万円

計 220万円 + 三菱みらい育成財団助成